

センター 月 だより

《7月分の活動状況報告》

東濃西部少年センター

夏休みに入り、子どもたちが外で遊ぶ機会も多くなり、指導機会も増えますが、猛暑でもあり、熱中症には十分気を付けて活動をお願いいたします。

・ 地区別指導活動

予 告

	多治見地区	瑞浪地区	土岐地区	合 計
活動延べ日数	15	10	14	39
声かけ人数	424	71	177	672
指導人数	15	11	19	45
指導員参加人数	78	36	54	168

少年センターのFAX番号が8月25日から変更になります。

新番号

(0572) 26-8813

(指導日誌より)

○多治見地区

- ・ 下校時間帯に声掛けをした小・中・高校の児童、生徒から気持ちの良い挨拶が返ってきたとの嬉しい報告が養正校区、池田校区、滝呂校区、脇之島校区を担当している各班からありました。(積極的に声掛けすると子どもたちも、うれしく感じると思いますので、できるだけ明るく声掛けしましょう。)
- ・ 一時減っていましたが夏休みに入ってから、夜遅くなって、駅前に子どもが集まってきていると駅前交番から情報をいただきました。
- ・ テラ地下道で中学生が指導員を見て急いでタバコを消しているところを目撃しました。いきなり喫煙を注意するのではなく、一呼吸置いてやさしく注意しており、相手も素直に受け入れやすい指導方法でした。

○瑞浪地区

- ・ 放置自転車関係の報告がゴールデンパーク地下道等、3か所から報告がありました。いずれも交番に連絡し処理していただきました。

○土岐地区

- ・ 下石地区の交差点で女子中学生が横断歩道で渡るのか、渡らないのか、はっきりしない行動を見受けました。運転手も判断できず、危険な状況に出くわしました。大変危険な行動であり、しっかり注意をしていただきました。

＜注意事項＞

機会あるごとをお願いしていますが、巡回当日の欠席・遅刻の連絡は必ず入れるようにしてください。班員全体の士気にかかわってきますので、くれぐれもよろしくをお願いいたします。

・ 8月28日は3地区合同研修会があります。(詳細は同封案内書を参照)

土岐市内の3高等学校の生徒が参加し、若者も大人もお互いに知り合うミーティングを予定しています。巡回指導に必ず役立ちますので、是非参加をお願いいたします。

苦しきの向こうに楽しさがある

「苦しいことを避けていると、楽しいことも遠ざかる」「楽は苦のたね、苦は楽のたね」とも言います。「苦」があつてこそ「楽しさ」が実感できるのです。毎日毎日、それこそ何の「苦」もなかったら、私たちの生きがいは何のようなものになるのでしょうか。

「生き方サプリメント101錠」第1集より
多治見市教育長 村瀬登志夫